

かけはし

44期生 No.14
2023年9月15日(金)

「平等な社会」について、みんなで考えました

9月11日の道徳の時間に、「平等な社会」について考えました。

無意識の思い込みや決めつけによって、誰かを傷つけたり、自分や周りの可能性をせばめていないかをふり返り、誰もが平等な社会の実現に向けて、自分たちに出来ることは何かを考えました。

～みなさんの振り返りより～



男女差があって思い込みや偏見を持つと自分や周りの人が傷ついてしまうかもしれないということを学んだので、こんな人たちがいるんだと認め合うことが分かりました。全員が性別など関係なく好きなことをして過ごせるといいなと思いました。これから過ごしていく中で、偏見を持たず、相手を尊重して自分の中の普通って何だろうを考えられるようになれば、みんなが好きなことが出来ると思います。

自分が思っている普通で相手のことを傷つけてしまったりしていることが分かった。だから、自分の普通は皆にとっても普通であると決めつけたりせずに、皆の事を受け入れていくことが大切だと思った。

男性・女性に〇〇することは当たり前だと勝手に決めつけるのはよくないと思った。男性・女性どちらにしろ自分にしたい夢など、一人ひとりにある。その意見を尊重し合うことが大切だと分かった。

世界には様々な考えの人がいることを知ることが大切だと思いました。色々な考えを理解して共感することはできなくても、そういう人がいると認め合うことが大切だと思いました。普通とは違うからといって遠ざけたりせず、知ろうとすることが大切だと思いました。誰もが平等な社会の実現のために、まず自分やその周りから変えていくことが大切だと思いました。

自分が普通や当たり前と思っていることがほかの人にとっては当たり前ではないこともあるからこれが普通だと決めつけないようにする。

自分以外の人の意見や考えを理解していくために視野を広げる。

自分と違う個性を持っている人や価値観の人を理解できなくても理解しようと心がけていく。男女差別、ジェンダー、障害、高齢者が生きていきやすい世界にしたい。

一人一人に当たり前があって当然なので、それを誰かに押し付けたりしなければいいと思いました。理由は、自分にとっての普通があることは悪いことではないので、自分がこんな考えを持っているからいけないんだと考えず、自分の考えにも相手の考えにも自信を持ってたらいいなと思ったからです。世界中の人の意見を聞くことは難しいけれど、平等な社会を目指すには、一人もかけてはいけないので、誰かを見て見ぬふりをするとかせずに、みんなで平等な社会を作りあげていくんだという意識を持つてばいいと思いました。全員が必ず幸せになるのは難しいので、まずは誰も不幸にならないようにできるといいなと思いました。

一人ひとりを大切にできる学年に



自分の「普通」や「当たり前」は相手の「普通」「当たり前」とは違うということはあると思います。でも、違うからといって、その相手を責めたり、からかったり、避けたり、陰口を言ったりしてしまっていることはありませんか？お互いの違いを認めることで、広い見方、考え方ができるようになると思います。そして、一人ひとりの立場や気持ちを大切にできる差別のないクラス、学年になってほしいと思います。

